



- 1 路面内の応急サービス専用空間
(食料、医療、衛生設備)
- 2 待ち行列区域を示す明確な標示
- 3 断続的に使用する場合は軽分離、継続的に使用する場合は重分離

応急/一時的な食料、衛生、保健、医療、または社会福祉拠点のための空間を設けます。

即地的状況

- 市場、クリニック、コミュニティセンター、交通機関の停留所など、主要な生活必須施設付近にある。
- 収容可能人数の追加を必要とする病院や医療センターに隣接している。

鍵となる手段

- 関連する位置を、自治体の人口統計/健康データおよび医療センターの位置に基づいて、特定して、優先順位を付ける。
- 地域の医療センターと協力して、収容可能人数増加を要する可能性のある施設を予測する。
- テント、拠点、または移動ステーションを設置するために、全面的または部分的に街路を閉鎖する。

実施計画: 数日間から数週間。

期間: 数時間、数日間、数週間、数ヶ月間。



出典: ジャスティン・サリバン/ゲッティイメージズ

米国・カリフォルニア州・サンフランシスコ

サンフランシスコにあるホームレス向けの公認テント野営地では、テントと設備間に対人距離を確保するための目印が標示される。

計画

- ・ 近隣/医療センターごとに、どのサービスが最も優先度が高いかを特定する。
- ・ 必要なサービスを提供するために転用可能な最も関連性の高い区域と位置を明確にする(時間、日数、または月単位)。
- ・ テント、拠点、ステーション、移動型診療所を検討する。
- ・ 提供されるサービス、場所、時間、そして各場所での利用資格について、明確な情報を提供する。
- ・ 現場での需要や感染を減少させるために、ひとり親や高齢者、妊婦、障害者、免疫不全者に対する直接的な食料配布を検討する。
- ・ 隔離施設または医療センター、検査所または医療ステーション間の安全な交通経路を計画する。
- ・ 医療機器、食料の冷蔵、照明やその他の電子機器が要する可能性のある発電機の電源や空間へのアクセスを考慮する。

連携

- ・ 病院と連携して、検査や治療に対する収容可能人数を、隣接する街路にまで拡大する。
- ・ 必要に応じて、コミュニティセンター、地元住民、企業と連携し、仮設ステーションを設置する。
- ・ 共済団体、利害関係者、賛同者と連携して、チラシを置いたり、地元住民と安全に連絡を取る。

設計 + 実装

- ・ 全面または一部の道路閉鎖、歩道拡幅、または駐車車線を提供されるサービスの設置箇所として検討する。
- ・ 物理的に分離し、テントやステーションが車両交通に隣接する場合は、交通静穏化戦略の導入を検討する。
- ・ 適切な空間と目印を標示することによって、サービスを受ける人や待機している人のために対人距離の確保を尊重するようにする。
- ・ 必要に応じて複数の言語による仮設標識を使用し、ステーションやサービスを強調する。

モニタリング

- ・ 重要な基準: 待合室の混雑、サービスの需要と収容可能人数。
- ・ 利害関係者にインタビューし、どのサービスが最も需要があるかを確認して調整する。



出典: エリック・ロメロ/PMSCS



出典: AP写真/テムバ・ハデベ

ブラジル・サンカエターノ

サンカエターノでは、公共交通の停留所付近に衛生ステーションを設置した。

南アフリカ共和国・レナシア

南アフリカ、ヨハネスブルグの南にあるレナシアでは、簡易テントを設置し、待合区域を広げて検査所を拡大している。